豊かで 伸びやかに そしてたくましく



# スカウト みやぎ

# No. 19

発 行 日本ボーイスカウト宮城県連盟 発行日 平成20年10月30日

新県連盟事務所 県多賀城分庁舎

# 県連盟事務所移転

旧県連盟事務所 県通町分庁舎



県連盟事務所入居のビルが取り壊されるために多賀城市内の県関係施設に移転することになりました。

昭和24年、県連盟が再興され、その事務所については理事長宅に置いたようであるが、県連盟の活動は理事会、理事長の方針のもと事務局長が全般的に調整・連絡することから、その後、事務局長宅に置かれるようになりました。県連盟事務所が独立して置かれたのは、昭和46年、県庁北裏、上杉1丁目の仙台紙器ビル3階が最初で、それも加盟団、関係者の利用と経費の面から昭和48年4月当時の高橋勇事務局長宅に転所、昭和57年1月高橋事務局長逝去により郷家智道理事長宅に、昭和59年4月、大久保孝事務局長宅、平成4年10月、山本壮一郎元県知事の配慮により現在の青葉区通町の県通町分庁舎1階に移転しました。その際、事務所開設の備品、什器等については無償で整備する事が出来ました。

事務所経費については当初は室の光熱水費のみでしたが、その後、清掃保守経費が負担となり、 県連の健全財政に大きく寄与。

事務所移転にあたり、今後のボーイスカウト運動宮城連盟の発展のために、関係書類の整理保存に力を注いで行ければと思います。 (元事務局長 大久保 孝)

# 県連災害支援「本部規定」「活動規定」理事会で承認

野営行事委員長 大久保 晃男

前野営行事委員長より引き継ぎ、当委員会で練り幾度か原案を理事会に示し、なかなか決まらずにいた「県連災害支援に関して」委員会でどうにか原案がまとまり、理事会に提案する事になった。この規定は「支援本部」に関すること、「支援活動」に関することの二つの構成にしました。災害に関して他方面のものを参考に横澤副委員長の草案を基に協議してどうにか形にすることが出来ました。

近年地震による災害が多発し、宮城県沖地震級のものが発生することが予想され、岩手宮城内陸地震が発生、ニュースが映し出される度に被害の大きさに驚かされました。以前県大会が栗駒で開かれ、大きな被害を受けた「駒の湯」にカブスカウトが泊まり、当時私は広報を担当、毎日ガリ版印刷で新聞を作り、駒の湯に取材に行ったことを思い出します。また、栗駒登山に取材のため同行し、残雪を見ながら登った栗駒の山が動き、道路を寸断、山が崩れ、三段に山を移動させてしまいました。栗駒の耕英開拓地はボーイスカウトのキャンプで耕英分校に泊まり、周辺の風景を思い出しますが、ニュースが流れる度に風景が変わり心が痛みました。

大きな地震が宮城県北部地震と合わせて2回発生、近々宮城県沖地震と同じ地震が発生することが確実となっている今日、ボーイスカウト宮城県連盟に災害に関する規定を早くに確立して運用され、ベンチャースカウトが災害支援活動を出来るようにしなければならない。仙台第1団のベンチャースカウトが新潟地震の際にボランティアとして支援活動を展開したことも含めて委員会で協議し、理事会に提案、ここに「県連災害支援本部規定」「県連災害活動規定」が原案通り承認されました。支援本部の設置は県連・地区・現地本部を設置すること。支援活動は支援隊を編成し、被災地に派遣することが決り、規定に添って支援活動を行われることを希望します。

# 韓日フォーラム参加(8月1日~13日の13日間)

石巻第6団VS隊 北村 洸

僕が出発前に掲げた目標は、

- テーマを理解し、自分の考え方を明確にする。
- ・韓国文化について知る。
- ・自己紹介を韓国語でできるようにしておく。 の3つでした。

まず、「テーマを理解し、自分の考え方を明確にする。」という目標はクリアしたと思います。 ディスカッションでは直接、テーマである「よりよき理解、明るい未来」についてではなく Adolescence(青年期)、Culture(文化)、

Environment (環境)という3つのテーマに分けて話し合いました。その場、その場で自分の考えは述べられたし、自信を持って発言できとても良いディスカッションができたと思います。

「韓国文化について知る」という目標はフォーラム開催中にクリアできました。国会議事堂の見学などができたというのもありますが、一番は韓国スカウトが丁寧にいろいろ教えてくれたことです。とても感謝しています。

悔やまれるのが「自己紹介を韓国語でできるようにしておく」という目標です。 これは一番頑張ろうと思っていたのですが、つい 英語に逃げてしまい韓国語であいさつ程度しか 交わせませんでした。

この派遣に参加した僕の目的である「韓日スカウトフォーラム派遣に参加し、韓国スカウトや日本の派遣スカウトたちと交流を深め、友達を作り自分の今後の生活に生かしていく。」は十分達成できたと思います。本当に素晴らしい仲間と出会うことができ、とてもうれしいです。

この派遣に参加するためにいろんな方々にお カ添えを頂きました。僕一人ではなにもできなく、 たくさんの人たちからの応援と手助けがあって この派遣に参加することができたと思います。こ の派遣に僕を参加させようとしてくれた方々に は本当に感謝しています。僕自身、スカウトとし て行くことができる最初で最後の海外派遣でし た。なので、悔いの残らぬよう一生懸命楽しんで

きたつもりです。おかけで全国に友達ができ、9年間ボーイスカウトを続けてきて本当によかったなと思える派遣でした。



# 地区便り

# 2008東部地区カブラリー

6月15日(日)快晴の下、多賀城歴史博物館と隣接する廃寺跡にてカブラリーを行いました。

前日に岩手宮城内陸部地震があり開催が心配されましたが、東部地区に大きな被害はなく、スカウト38名を含む71名の参加がありました。

グループ分けの後、スカウトたちは指令書をたよりに各ブースを回ります。暗夜行路・ロープ・ 手旗など皆で協力しながら取り組みました。

強い日差しの中を走り回ったあとは「火おこし」に挑戦です。短い時間での火おこしはなかな か難しかったようです。

お昼は保護者の方々と地区委員の方々特製の「みやびなすいとん」をあっという間に完食し、 午後の活動のまが玉づくりに入りました。四苦八 苦の末完成した世界にひとつだけのまが玉を 東部地区CS活動委員会委員長 田端 恭子

お土産に、カブラリーは終了です

その日はエジソン展の最終日でもあり、見学の おまけもついた盛りだくさんな一日でした。



# 三角信号塔の製作

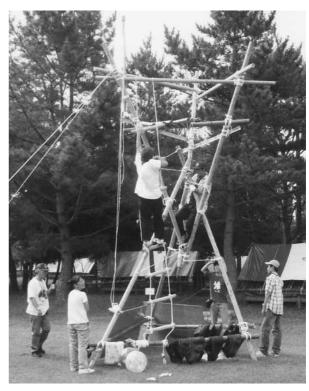
今回の仙台地区創立40周年記念キャンポリーでは 三角信号塔、モンキーブリッジ、いかだの3つを作り ました。

三角信号塔は岩沼第一団が、いかだは名取第一団が過 去に作ったことがあったため、それらは経験者を中心 にして作っていきました。モンキーブリッジについて は、リーダーの方々に作り方を教えてもらって作りま した。作ったものの中でも特に三角信号塔について書 きたいと思います。 前述のとおり、岩沼第一団では 三角信号塔を去年の8月に作ったことかあるのですが、 そのときは短めの丸太を使った低めの信号塔でした。 今回作った三角信号塔はそのときと作り方は同じだっ たのですが、長い丸太を使ったためとても高くなり、 形の調整がとても大変でした。形の調整にはみんなで 意見を出し合い、より正三角形に近づくように修正を 重ねていきました。やはり大きくならなければわから ないこともありました。バランスの問題や、人がはし ごにのぼったときのぐらつきなど、問題が発覚するた びに修正と補助をしていかなければならないのでとて も太変でした。

一通り問題点が修正され、足場なども組みあがってからはぐらつきも少なく、とても安全になりました。 リーダーやスカウトがみんなで順番に登ったり、2人 一度に登ったりしていました。今回は混成隊で参加のベンチャー、原隊で参加のベンチャー、リーダー方という大人数で作業をしたため、次にやろうとおもって

## 仙台地区VS混成隊 大村 健人

いる作業のことで意見の相違もあり、作業がなかなか 円滑に進まないこともありました。ですがリーダー方の人手や知恵が借りられたため、そして全員が協力し あったためとても立派な三角信号塔が作れたのだと思います。今回の信号塔作りはとても高く、大きく、大変でしたが大成功だったと思います。



# 障害者との交流「おひさまといっしょ」



障害者と健常者が 交流を図る運動会 「第37回おひさま といっしょ」が9月

6日石巻市総合体育館において行われました。石 巻地区では昭和47年から奉仕活動を行い今回 初めて石巻地区協議会としてボーイスカウト独 自のプログラムで「ジャンケンチャンピョンゲー

# 石巻地区広報副委員長 榛澤 達夫

ム」をし、今までにない盛り上がりで障害者、ボ

ランティア、スカ ウト全員で楽し みました。石巻地 区参加はスカウ ト30名、指導者 11名



# 仙台地区創立40周年記念〈第8回地区キャンポリー開催〉

仙台地区広報委員長 柿沼 富雄

仙台地区協議会が昭和43年に創立され、本年 度が40周年に当たり、記念事業として7月31 日から8月3日の4日間、松島自然の家で、「青

初日は真夏日、開会式ではスカウト代表(工藤 直也君BS名取第1団)が「僕達・私達はこのキ ャンプで沢山の友達と楽しい思い出をつくるこ とを誓います」と開会宣言があり、各団に野中協 議会長より参加綬が手渡されました。

い空、青い海。Enjoy Scouting」

のテーマで220名余りが参加して開催された。

好天の中、スカウト達はスコアオリエンテーリ ング、魚釣り、サイクリング、いかだ遊び、海水 浴、貝殻拾いや、流木拾い、砂の造形等に、そし

て最後の夜の全体行事は『松島の夕べ』。

会場には出店が一杯、スタンプカードを手にそ れぞれに挑戦。焼きたてのマシュマロをフーフー しながらおいしそうに食べている子、消えゆく花



火に名残惜 しそうに見 つめる子、こ のキャンポ リーで子供 達はどんな 思い出を心 に残したの でしょうか。

# 第8回 仙台地区キャンポリーに参加して

岩沼第1団BS隊 原間井 達也

僕は、7月31日から8月3日まで松島野外活動セ ンターで行われた仙台地区キャンポリーに参加しまし た。キャンポリーに参加して楽しかったことは2つあ ります。

1つ目は、3日目に活動した釣りです。午前中には 一匹も釣れませんでした。同じ班の班長が釣れたので 僕も頑張りました。そしたら午後は3匹釣れました。 種類は、アイナメとハゼとスズキの子供が釣れました。 とても嬉しかったです。釣れた魚は、焼いて食べまし た。とてもおいしかったです。

2つ目は、クップです。7回やって3回勝ちました。 4回も負けて悔しかったです。今度やるときは、もっ と強くなりたいです。他の団のベンチャー隊が世界ジ ャンボリーでクップで優勝したので僕も優勝したいと 思いました。

最後の閉会式にスコアオリエンテーリングで第3位 になって表彰されてとても嬉しかったです。沢山の仲 間と参加できたキャンポリーはいい思い出になりまし た。



# SUMMER-GIFT2008《石巻第6団、第1団合同キャンス》

8月13日~16日まで3泊4日石巻市東浜において行われました。

石巻第6団 上級班長 佐々木琢朗 私は今回の3泊4日のキャンプで学んだことは、3 つあります。

まず1つ目に、「今まで自分がどれくらい便利で、贅沢な生活をしていたか?」ということが学べました。なぜかというと、今回のキャンプでは、電気や作ってあるカマドなどがなくて、自分で用意をしなければなかったからです。

2つ目は、「家の人にどれくらい甘えてしまっていたか」ということです。なぜかというと、いつも家にいるときは料理を作ってもらったり、洗濯をしてもらっているけど、今回のキャンプではそういったこともしなければならなかったからです。

3つ目は、「上級班長として班員への指示の仕方」です。なぜかというと、今回のキャンプでは班長から班員に指示を出す機会が多かったからです。これら3つの学んだことをしっかりやって、ベンチャースカウト活動の中でも生かしていきたいです。





石巻第1団 上級班長 藤田 侑希

8月13日~16日までの長期キャンプを終えて、 とてもいい経験になりました。

13日は設営でドコの班よりも早く出来ました。優秀班もとれて嬉しかったです。

14日はビーチプログラム。ビーチアート以外では 1位だったのに、アートで協力してやらずに、ダメで した。

15日はクッキングコンテスト。段取りが悪く、5 分遅れてしまいました。だけどナムルの味付けがとて も良かったです。そして、ナムルの豆もやしを炒めた のを再利用し、卵ス一プを作りました。朝礼のとき、 上班なのにしっかりしなくて、何回もやり直しさせて しまい、大変申し訳なかったです。

撤収では、みんな役割を決め、設営と同じく早く終わらせることができました。

怪我なく3泊4日を過ごせて良かったです。とても楽しかった。

# 

県北地区委員長 片寄 稔

ボーイスカウト高清水第1団はこの度、岩手・宮城内陸地震で大きな被害を受けた栗原市花山・栗駒地区に建設された仮設住宅を訪ね、全世帯に、隊員の「笑顔を絶やさずがんばって」「地震に負けないで」などのメッセージを添えた"風鈴"をプレゼント。高清水地区には大きな被害が見られなかった事から自分たちで何か出来ないか話し合いの結果"風鈴"のプレゼントに成ったが、訪問先の栗駒耕英行政区の金澤大樹区長さんからの感謝の言葉や地区のお年寄りの方から"孫たちからの励まし"と涙される場面もあり、隊員たちが感激する様子も。



# 釜房ダムツアーに参加して

7月25日~28日、3泊4日の団夏季野営は、川崎町にある自隊キャンプ場で開催されました。 天候に左右されましたが、プログラムの内容は盛り沢山でした。自然な森林の中でのキャンプ生活は、"ゆったり""のんびり"と過ごすことが出来ました。

7月27日(日)森と湖に親しむ旬間「レイクフェスタ! in 釜房2008」釜房ダム楽校ツアーに、一般の方と一緒に参加させていただきました。この日はボーイ隊カブ隊合同参加となりましたが、リーダー・父兄もいっしょの釜房ダムの仕組みなど、滅多に見られない貴重な体験をしました。釜房ダムでは、社会生活に果たしている重要な役割等(治山治水・利水・環境保全及び森林整備)を管理担当者の説明に理解し関心を深めることが出来ました。

ダムの役割を身近に体験したあと、みちのく湖 畔公園に行き、森と湖に親しむイベントコーナー 仙台第35団CS隊副長 阿部 ケイ子

がありました。

コーナー内には「水力発電工作教室」「守ろうね。きれいな水源。うまい水」「森林教室」「その他いろいろと森と湖の重要な役割」に関心を深めることが出来ました。

安全で美味しい水に感謝しよう!



# 仙台第1団創設60周年を祝う

日本ボーイスカウト仙台第1隊として、宮城県で最初に初隊登録した現在の仙台第1団は平成20年7月20日松島自然の家において、団創設60周年の記念式典を団関係者総勢130名の出席のもと盛大に行いました。

進行全てがスカウトによるこの式典は、2泊3日全員参加の団キャンプ行事として行いましたので、午後6時30分開会、団旗儀礼、君が代、連盟歌斉唱、物故者に対する黙祷「おきての唱和」に続き、和田団委員長の式辞、芳賀育成会長から「仙台第1団60年の歩み」の報告の後、精励スカウト4名、指導者2名に平野賞(50周年の時制定)、長年の奉仕者14名には感謝状が贈られました。

更に、スカウトからリーダー ひとり一人に宛てた手書きの感 謝状とメダルが贈られる等、極 めてユニークな贈呈式も行われ ました。

その後、千田県連盟理事長、 野中地区協議会長から祝辞を頂 きました。

## 仙台第1団育成会長 芳賀 文蔵

この式典に創設当時のスカウトだった、木名瀬武男氏(神奈川県相模原市5団団委員長)も参加され、また神奈川県連盟理事長伊藤幸夫氏も仙台第1団のスカウトであったと報告される等、意義深い式典となりました。

また60周年記念誌発行の際には、編集実行委員はローバースカウトが担当し、各隊スカウト全員による投稿を中心に取りまとめ、記念式典当日に発行しました。また、記念品としてカブスカウト提案による帽子を作りました。

一方、自然の家正面広場に「さざんか」の記念 植樹を行うなど、多彩な創設60周年記念行事を 実施しました。



# 野外炊飯

白石第1団BS隊 堀内 絢斗

僕はキャンプがあると聞いた時、楽しみだな あ・・・などと、甘く考えていましたが、実際に 行ってみると、いつの間にか自分の顔から笑顔が 消えていました。

特に大変だったと思うことは、野外炊飯です。 野外炊飯になると、笑顔だったみんなの顔が、侍 のような目つきになる事だってありました。

しかも、初めのころはみんなひとつの事に集中して、なかなか作業が終わらないと、隊長方に指摘されました。

でも、野外炊飯は大変だと思うだけではありません。みんなで協力して作った台で、流しう一めんをしたり、おにぎりを作ったり、楽しいこともたくさんありました。

僕はこのキャンプを通して学んだことがたくさんあります。そして、この学んだことを無駄にはせず、これからの生活に生かしていきたいです。



# インターハイ重量挙げで活躍!

ベンチャー隊の立野恭啓君が、今夏開催された 全国高校総体(さいたま市)ウエイトリフティン グ105キロ超級で、折からの猛暑に耐えジャー クで5位、トータル8位に入賞! 高校入学と同 時に、スカウト活動を続けながらウエイトリフティング部に所属。恵まれた体格を生かして実力を 発揮、県大会、東北大会を勝ち抜きインターハイ 出場を果たしました。ベンチャースカウト活動の 個人プロジェクトとしても取り組み、自ら設定し た全国大会での目標を見事に達成しました。

# 石巻第2団 須田 裕子

現在は今秋開催の国 体(大分)出場を目指し 練習に励む毎日です。更 なる活動に期待します。 「インターハイを上回 る成績を目指しま す・・・」立野恭啓スカ ウト。



# カントリー大作戦と隊行事に参加して

村田第1団 鈴木 淳斗・雷斗

好天に恵まれた、9月14日(日)カントリー大作戦と隊行事を開催しました。(途中ゲリラ豪雨あり)



淳斗 ぼくはゴミひろいが楽しかったです。

たばこがたくさんあってくさかったけどがんばりました。 そのあと、魚つりをして1匹しかつれなかったけどおもしろかったです。

雷斗 ぼくは、ゴミひろいで、たくさん ゴミをひろいました。

魚つりでは2匹釣れて、焼いてもらって 食べました。

うまかったです。



# カヌー体験と自分について

ポーイスカウトたるもの、陸での活動だけでな く、水上での訓練も必要です。六月、私はカヌー 体験をしました。カヌーに乗るのは前年もやって いるので2回目です。初めて乗った時にはあまり 上手にオールをこげず前にゆっくりしか進めま せんでした。しかし、今年は、2回目ということ もあり去年よりスムーズに速く進むことができ ました。でも、速く進めても、なかなか思い通り の方向に向かないのは、全く昨年と一緒でした。 私は、カヌーって自分の人生に似ているのかもし れません、そう思いました。いくら頑張ってこい 石巻第2団BS隊 上級班長 青木 七海

でも、なかなか思い通りに進めないのは、今の私 そっくり、そう感じました。これからは、カヌー も自分自身も、うまく運転して決めた道を直進で

きるよう、 もっとボ ーイスカ ウトの活 動に熱を 入れたい です。



至 塩釜

宮城県連盟事務所移転のお知らせ

ボーイスカウト宮城県連盟は事務所を下記に移転し、 9月30日より業務を行っております。(火・水・金 10:00~15:00)

記

〒985-0841

宮城県多賀城市鶴ヶ谷1丁目4番1号

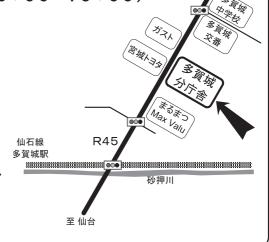
多賀城分庁舎内

光電話番号:022-355-6265

FAX番号: 022-355-6267

※新事務所はJR仙石線多賀城駅より徒歩10~15分

※事務室は正面玄関を入り、1階右手奥になります。



【予告】各種委員会紹介 次号は、『アダルトリソーシス委員会』です。ご期待下さい。

#### 編集後記

第19号編集会議は持ち回りで今回は、本場の『腹子 飯』シーズンを迎えた岩沼で全員が顔を揃えて楽しく 開催された。/北京オリンピックや第90回甲子園高 校野球の熱闘の中で開催された第10回アグナリーを 始め県内各地区から夏季活動の楽しい記事が寄せられ た。何れも主役はスカウト達である。/まもなく稔り の秋を迎える。ひと夏の活動によって、スカウトたち が一歩一歩進歩の階段を上り、大きく成長する姿が見 えてくる。(渡)

- ■発行/日本ボーイスカウト宮城県連盟
- ■編集/ 宮城県連盟広報委員会

委 員 長 堀越祐寿 副委員長

渡辺七郎 委員長代行 柿沼富雄

榛澤達夫・大沼茂雄 砂押名湖・久光和明

〒985-0841

宮城県多賀城市鶴ヶ谷1丁目4番1号 宮城県多賀城分庁舎内

TEL 022-355-6265/FAX 022-325-6267

■印刷/ 株式会社小野寺印刷所